

平成26年度

近畿地方整備局研究発表会

【受賞者一覧表】

【実施報告書】

優秀賞	25課題
奨励賞	12課題

優秀賞 (25課題)

地域づくり・コミュニケーション部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏名
1	2	地域課題の解決に向けた事業連携を通じた合意形成について～武庫川武田尾地区河川改修における取組み～	ひょうご けん 兵庫県	けんど せいびぶ とうほくきょく とうろ ぎかくか 県土整備部土木局 道路企画課 高速道路室	やお てつお 矢尾 哲雄
2	8	熊野川河道掘削土砂の有効活用について	きなん かせん こくどう じむしょ 紀南河川国道事務所	ちようき だいいちか 調査第一課	しらせ たくや 白波瀬 卓哉
3	9	一般国道478号京都縦貫自動車道における道の駅「京丹波 味夢の里」の整備について	きやうたんばらう 京丹波町	とうほく けんかくか 土木建築課	はらだ さとし 原田 聡

調査・計画・設計部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏名
1	5	アセットマネジメントによる健全な下水道経営を目指して	なご けん 奈良県	けんど ぶ 県土マネジメント部 下水道課	てんぱく たつり 天白 龍昇
2	9	みずうみかわどうすいしせつ 水海川導水施設の設計について	ふくい かせん こくどう じむしょ 福井河川国道事務所	けいやくか 計画課	はやし ひきのり 林 尚典
3	15	もりやまし 守山市ラウンドアバウト社会実験に関する調査研究	しがけん もりやまし 滋賀県守山市	とし けいざいぶ とし けいやく ちいき こうつうか 都市経済部 都市計画・地域交通課	かわばた かずゆき 川端 和行
4	17	やまとがわ かこういき 大和川河口域の河道安定管理に向けた土砂動態調査報告	やまとがわ かせん じむしょ 大和川河川事務所	こうむか 工務課	みやた だいご 宮田 大悟
5	25	こくどう 312 号 保城北交差点における事故防止対策について	ひょうごけん 兵庫県	ひめじ とうほく じむしょ 姫路土木事務所 道路第二課	ふじさわ のぶかず 藤澤 伸和

施工・安全管理対策部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏名
1	7	河道掘削土を築堤材料に使用する場合の一考察	やまとがわ かせん じむしょ 大和川河川事務所	けんせつかんとうかん 建設監督官	おおにし たみお 大西 民男
2	14	ひ あつちかすい 被圧地下水影響地盤における水門基礎杭の中掘施工について	わかやま こうわん じむしょ 和歌山港湾事務所	かいがんか 海岸課	はやし もとぎ 林 基樹
3	15	たんば たい ふか 丹波帯・付加体堆積物が分布する地山での前方探査事例	かぶ こうのいけぐみ (株) 鴻池組	とうほく じきょう ほんぶ 土木事業本部 技術部 おおさかほんてん とうほく ぶ 大阪本店土木部	ながめま さとし ○長沼 諭 はらだ けんじ 原田 建志
4	17	きようちゆう 供用中の既設橋梁を活用した拡幅工事について	にっぽんしゃりやうせいぞう かぶ 日本車輛製造(株)	ゆき ほんぶ こうじぶ けいやくか 輸機・インフラ本部工事事務課	えんどう けんすけ 遠藤 謙介

防 災 ・ 保 全 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	9	国道25号における兼用道路の通行規制基準について	奈良国道事務所 豊岡河川国道事務所	管理第二課 道路管理課	松尾 亮衛 ○的羽 正樹
2	10	大規模地震による宅地造成斜面の崩壊範囲の評価 ―がけ条例による建築禁止距離の改良に向けて―	おおさかだいがく 大阪大学	大学院工学研究科 地球総合工学専攻	○秦 吉弥 駒井 尚子
3	15	道路防災対策工事における落石対策工法の比較検討	ふくいけん 福井県	たんなんどぶく じむ しょ さばえ にゆう どぶくぶ 丹南土木事務所 鯖江丹生土木 部道路保全課補修G	くぼ ひかる 久保 光
4	21	舞鶴港における将来計画を見据えた岸壁の老朽化対策に関する技術的検討について	こうべ こうわん くらこう ぎじゆつ ちようさき じむしょ 神戸港湾空港技術調査事務所	せつけい ほん 設計班	かわはた としのり 川端 稔教
5	24	冬期交通確保に向けた除雪の効率化について	しがくどう じむしょ 滋賀国道事務所	かんり だいに か 管理第二課	のと ますみ 能登真澄

新 技 術 ・ 新 工 法 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	1	局地的豪雨探知システムについて	かせんぶ 河川部 淀川ダム統合管理事務所	みずさいがいよほう 水災害予報センター 防災情報課	○上野 和也 まつだ まさひろ 松田 政裕
2	3	防潮壁構築における礫質埋立地盤の地盤改良試験施工	しん かんさい こくさい くらこう かが 新関西国際空港(株)	ぎじゆつ しせつ ぶ 技術・施設部 土地会社技術グループ	はざま ともかず 狭間 智一
3	12	トンネル掘削機の振動を利用した切羽前方探査の適用実験	しみず けんせつ かが 清水建設(株)	ぎじゆつ けんきゆうしょ 技術研究所 大阪支店 土木部	にし たくろう ○西 琢郎 いわはし たすく 岩橋 輔
4	18	博物館 展示照明の全面LED化について	えいぜんぶ 宮繕部	せいびか 整備課	いしざわ よしなり 石澤 佳也

行 政 サ ー ビ ス 部 門

連番	No.	論 文 名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	1	情報公開事務の効率化について	そうむぶ 総務部	じんじか 人事課	さまの たかひろ 佐間野 貴広
2	6	河川敷における不法耕作是正の事例について	わかやま かせん こだう じむしょ 和歌山河川国道事務所 かせんぶ 河川部	ふなと しゆつちようしょ 船戸出張所 水政課	○さとう あさこ 佐藤 麻子 かねざわ たかし 金沢 尚志
3	17	心に響く記者発表とは ～兵庫県土整備部の広報の取り組み～	ひょうごけん 兵庫県	けんど せいびぶ けんど きかくきよく そうむか 県土整備部県土企画局総務課	いのうえ ようすけ 井上 陽介
4	18	河川GISを活用した効率的な河川管理について	そうむぶ 総務部	こうせいか 厚生課	もりした ふみひろ 森下 文洋

奨励賞(12課題)

地域づくり・コミュニケーション部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	4	「大阪府豊能町吉川地区でのハザードマップの作成」～自主判断し、グループ単位での避難を目指して～	おおさか府 大阪府	いけだ とほく じむ しょ 池田土木事務所	たかすが しゅんすけ 高須賀 俊介
2	17	簡易な手法による河川改修効果の迅速な広報について ～H21災から復興する佐用川の現場より～	ひょうご県 兵庫県	こうと とほく じむ しょ 光都土木事務所 かせん かつこう しつ 河川復興室 かつこう じぎょう だいきんか 復興事業第三課	ふかつ まさき 深津 正樹

調査・計画・設計部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	10	フラッシュ放流等による河川環境改善の効果検証 ～一庫ダムにおける物理的・生物学的調査と分析～	みずしげんきこう 水資源機構 ひとくら 一庫ダム管理所		ふじつ あやこ 藤津 亜弥子
2	23	津波襲来後の大阪平野の排水について	かせんぶ 河川部	ちいき かせんか 地域河川課	まつおか かつなり 松岡 一成

施工・安全管理対策部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	2	名塩道路八幡トンネルにおける無導坑方式の設計について	おおさかこくどう じむしょ 大阪国道事務所 ひょうごこくどう じむしょ 兵庫国道事務所	かんり だいに か 管理第二課 こうむ だいに か 工務第一課	○たなか こう 田中 孝 たにぐち だいき 谷口 大樹
2	9	彦根地方気象台における歴史的建築物の保存活用の取り組みについて	きょうと 京都宮繕事務所	ぎじゆつか 技術課	こんどう たかこ 近藤 孝子

防災・保全部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	3	今津町保坂地区における法面崩壊について	しがけん 滋賀県	おおつ とほく じむ しょ 大津土木事務所 かせん さぼう か 河川砂防課	よこやま まさき 横山 将希
2	16	真名川ダムの弾力的管理に関するマニュアルの構築について	くずりゅうがわ 九頭電川ダム統合管理事務所	かんり かい 管理課	むらかみ ちかみ 村上 智文

新技術・新工法部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	17	見草トンネルにおけるCIMの取組みについて	かぶ おおほやしぐみ (株)大林組	おおさかほんてん 大阪本店 みくさ こうじ じむしょ 見草トンネル工事事務所	いわもと しゅんいち 岩本 俊一 ○かしばら こうすけ 柏原 宏輔
2	21	緊急油圧装置の開発	みずしげんきこう 水資源機構 かんさいしんさ 関西支社	じぎょうぶ 事業部 せつびか 設備課	○かさはら さとし 笠原 諭 きよなが ゆうじ 清永 勇治

行政サピス部門

連番	No.	論文名	発表者 所属	発表者 所属	氏 名
1	10	ダム事業用地取得マネジメントにおける地理情報システム(GIS)の活用について	あすわがわ こうじ じむしょ 足羽川ダム工事事務所	ようちか 用地課	はやし かずたか 林 和毅
2	14	地域とともに進める公共事業 ～山陰近畿自動車道 浜坂道路の広報について～	ひょうごけん 兵庫県	けんと せいびぶ 県土整備部 けんと きかくきょく 県土企画局 くわう せいぎょか 空港政策課	ふじい しのぶ 藤井 忍

平成26年度 近畿地方整備局研究発表会 実施報告

企画部 技術調査課

- 台風の影響により順延された研究発表会を9月1日(月)・2日(火)の2日間に渡って開催し、6部門124課題の発表があった。審査の結果、優秀賞25名、奨励賞12名を選定し表彰。国土技術研究会へ4名を選出。
- 2日目の特別講演においては、『国土強靱化とアベノミクス』と題して、京都大学藤井教授にご講演を頂き500名を超える人が聴講し、用意した資料がなくなるほどの大盛況。
- 今年度においても、CPDSの登録を行い、124名の受講証明を発行。
- 皆様のご協力の下、無事終了することが出来ました。有り難うございました。

1. 部門別発表課題数 (6部門 124課題)

部門名	課題数
地域づくり・コミュニケーション部門	17課題
調査・計画・設計部門	25課題
施工・安全管理対策部門	18課題
防災・保全部門	24課題
新技術・新工法部門	22課題
行政サービス部門	18課題

2. 機関別発表課題数

機関名	課題数
整備局	67課題
他省庁・自治体	36課題
その他(法人、民間、大学等)	21課題
計	124課題

3. 聴講者数 (受付済数)

期間 日時	聴講者数				合計	
	一般	整備局	自治体	関係機関		
1日	AM	207	194	33	16	450
	PM	20	93	6	6	125
2日	AM	129	94	22	7	252
	PM	148	103	27	72	350
合計	504	484	88	101	1177	

4. 特別講演等

1) 「京都大学 藤井教授」の特別講演

- 「国土強靱化とアベノミクス」と題して講演。
- 多数の聴講者(500名以上)があり隣接会場を設け、立ち見も出るほどの大盛況。
- 講演内容は、金魚鉢とその中の金魚の関係に比喻してインフラ整備無くして経済成長なし、道路整備・新幹線整備・治水治水等如何にインフラ整備が重要で必要であるかとわかりやすく解説。
- また、災害は必ず起こる。今、リスクマネジメント(インフラ整備)しておかなければ災害後は何倍も支出が増加。
- 今、インフラ整備が重要、そのためにアベノミクスが重要と分かり易く講演して頂いた。

2) CPDS認定プログラム(H23年度より登録)

(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)に登録し、124名(昨年度116名)の方に受講証明を発行。

3) 技術展示

災害対応の衛生通信車の展示を始め、5事務所からパネル展示がありました。(内容:防災・整備効果等)